

「森町商工会経営発達支援計画」(平成29年度事業 事後評価)

1. 経営発達支援事業

\* 目標達成度 A:100%以上、B:80~99%、C:50~79%、D:30~49%、E:30%未満

\* ●:国の補助金(伴走型小規模事業者支援推進事業)

項目	実施事業	事業内容	本年度目標	実績	目標達成度	外部評価	実績の内訳	自己評価	備考
I 地域の 経済動向調査	①「小規模企業景気動向調査」の実施	○対象:9業種9事業者(食料品、機械・金属)、建設業、小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)、サービス業(旅館、洗濯、理・美容) ○調査方法:毎月巡回による ○調査内容:対前年同月比として、「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析などを行う	108回	108回	A	計画通りの実施がされた。	○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ①森町商工会会員への周知 森町商工会ホームページへ毎月掲載 ②商工会理事会での報告 ・開催日:29年4月21日、6月15日 10月12日、12月12日 30年3月20日	【成果】 ・9業種9事業者の景気動向を把握するため管内の小規模事業者を訪問し、毎月の景気の動向の聞き取りを行った。季節変動、円の為替動向、突発的な景気変動要素等を参考に業種別に把握した。 ・県内38商工会の調査結果を集計し、静岡県内の小規模事業者の景気動向を公表した。 ・商工会ホームページや理事会でも報告するなど情報共有を図った。 【課題】 ・景況DIを評価基準とするため感覚的な判断となり、数値的根拠との比較が難しい場合がある。	○30年度計画 108回
	②「森町の基幹産業経済動向調査」の実施	○対象:製茶業、和洋菓子製造小売業 ○調査方法:巡回訪問 ○調査内容:「経営の振り返りシート」などを活用するなどもう一步踏み込んだ動向調査を収集し、整理・分析	60回	113回	A	目標の倍近い実施であり大いに評価できる。	○経済動向調査の実施内訳 ・製茶業:84回、菓子製造小売業:20回 ・経営の振り返りシート活用 9回(3社×3日)	【成果】 ・当町の基幹産業である製茶業、菓子製造小売業につき巡回訪問時を活用し現況把握に努めると共に時節に応じた施策を提案し活用につなげた。 ・経営支援ツールの活用から優先課題の抽出とその課題解決策のため施策を提案し、その後の支援に結びつけた。	○30年度計画 60回
II 経営分析・ 需要動向調査	①小規模事業者への巡回訪問	○経営指導員等による巡回訪問	1,800件	1,680件	B	巡回計画のもとで効率の良い実施が望まれる。	○巡回訪問者:3名 平田(経営指導員) 774件 高橋(経営指導員) 649件 横田(記帳専任職員) 257件	【成果】 ・経営指導員が年間目標に基づく各月次の巡回計画に沿った巡回を実施した。しかし、目標達成には至らなかった。	○30年度計画 1,800件
	②小規模事業者からの窓口相談	○経営指導員等による窓口相談	570件	223件	D	3名以外の窓口相談も実績にカウントすることを検討すべきである。	○主な相談内容 経営一般、金融、記帳・税務・労働等 平田(経営指導員) 61件 高橋(経営指導員) 146件 横田(記帳専任職員) 16件	「成果」 ・巡回訪問にウエートを置いているため窓口相談件数は低くなるが、経営指導員不在時には他の職員が対応するなど一体的な相談体制の確立につながっている。	○30年度計画 590件
	③小規模事業者の経営分析の実施	○経営分析の必要な小規模事業者を抽出し、他の支援機関とも連携しながら、財務諸表を元に経営分析を実施する。	16回	45回	A	目標に対して倍の達成率となっており、大いに評価できる。	○経営分析の実施 ・小規模事業者持続化補助金申請者述べ24名と日本政策金融公庫マル経資金借入相談者14名に加え経営力向上事業費補助金申請者7名を対象に、現状における経営分析を実施した。	「成果」 ・財務諸表を元に経営分析を実施。その結果、小規模事業者持続化補助金や経営力向上補助金では申請者の課題解決に向けての経営計画書作成につなげ今後の経営方針等策定につなげた。 ・マル経では、運転資金及び設備資金の調達につなげ経営改善を図った。	○30年度計画 18回
	④小規模事業者の需要動向調査の実施	○新分野への進出、展開を目指す小規模事業者に対して、需要動向を把握するなど整理・分析を実施する。	16件	9件	C	継続的な動向調査が必要となる。	○需要動向調査の実施 ・精肉加工業者・製茶業に対して、巡回訪問等の機会を通し、既存事業に係る需要動向調査を実施した。	【成果】 ・新規顧客開拓を進める上での現状分析・把握につなげたと共に持続化補助金などの施策活用につなげた。	○30年度計画 18件

項目	実施事業	事業内容	本年度目標	実績	目標達成度	外部評価	実績の内訳	自己評価	備考
Ⅲ 事業計画の策定・実施支援	①事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起し	●経営計画策定セミナー・個別相談会を開催し、小規模事業者の掘り起しを行う。	セミナー実施回数 3回	4回	A	回数、受講者とも目標を上回った。	●「経営計画書作成セミナー」の開催 ・趣旨:小規模事業者持続化補助金等の活用を図るため、磐田市・浅羽町商工会と共催し広域連携事業として開催した。 ・開催日:29年11月21日、12月5日・19日、30年1月16日の4日間(4回コース) ・会場:アミューズ豊田 ・講師:中小企業診断士 鈴木賢一氏 ・受講者:述べ58名(森町4名)	【成果】 ・中遠地域において、小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金申請に加え経営革新計画の承認を目指す者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援を図ることができた。 ・受講者にとっては、自社に当てはめた具体的な経営計画書作成方法を学ぶことで、各種の補助金申請等に繋がれたと思われる。 ・個別相談会を開催したことで、セミナーのフォローアップにつながり、相談者の経営計画がより具体的になった。	●30年度計画 セミナー3回 受講者10名
	②事業計画の策定支援	●経営計画策定セミナー・個別相談会を開催し、事業計画の策定を支援する。	個別相談 10件	2件	E	セミナー実施時の案内を徹底すべきである。	●上記セミナー受講者を対象にした個別相談会の実施 ・趣旨:セミナー受講者のフォローアップ及び自社の経営計画作成支援 ・実施日:29年12月8日、26日 30年1月24日の3日間 ・講師:中小企業診断士 織野大輔氏 ・受講者:2名	「課題」 ・地元受講者の確保が進まなかったため、今後の企画等を検討する必要がある。 ・地元受講者が4名と少数であったことから、のちの個別相談会につながらなかった。	●30年度計画 個別相談会3回 対象者6名
	③事業計画の実施支援	○「小規模事業者経営発達支援融資制度」や「小規模事業者持続化補助金」の利活用を支援する。  ○事業計画策定後のフォローアップとして、巡回訪問・指導・助言を行う。	—  —	31名  28件	—  —	目標には設定されていないが積極的な取り組みとして評価できる。  目標には設定されていないが積極的な取り組みとして評価できる。	●平成28年度補正小規模事業者持続化補助金一次及び追加公募では24名の利活用につなげた。 ●平成29年度新設された経営力向上補助金では11名の利活用につなげた。  ●平成28年度補正小規模事業者持続化補助金一次及び追加公募では24名のうち採択を得た22名に対し計画的な事業を遂行する上でのフォローアップから実績報告書作成まで支援した。 ●平成29年度新設された経営力向上補助金では11名のうち採択を得た6名に対し計画的な事業遂行のためのフォローアップから実績報告書作成まで支援した。	「成果」 ・新たな需要開拓(新規顧客開拓)に資するため「小規模事業者持続化補助金」の内容を理解するとともに、小規模事業者にとって不慣れな経営計画を始め申請書類の作成方法等につき伴走型支援に取り組んだ。 ・新設された経営力向上補助金では、同業他社との差別化を図るため経営革新を意識した経営計画書の作成方法等につき伴走型支援に取り組んだ。 ○持続化補助金 1次:申請17件 採択15件 追加:申請7件 採択7件 合計:申請24件 採択22件 採択率91.7% ○経営力向上補助金 1次:申請7件 採択3件 追加:申請4件 採択3件 合計:申請11件 採択6件 採択率54.5%	●30年度計画 15件
Ⅳ 創業・経営革新支援	①創業支援	○創業希望者の掘り起し ①広報:新聞折込み 商工会ホームページ掲載 ②個別相談会の開催:毎月1回 ③窓口相談の実施 ③近隣商工団体が開催している創業塾との連携	創業希望者:10人	個別相談会:3人 セミナー受講者:18人	A	役場の広報を活用するなど様々な取り組みにより目標を上回る創業希望者の発掘が行われた。	●個別相談会 (1)実施日(会場:森町商工会) ①29年7月22日(土)10時~12時 相談者:1名(創業予定者) ②29年9月30日(土)10時~12時 相談者:0名 ③29年11月18日(土)10時~12時 相談者:2名(創業予定者、創業間もない方) (2)広報 新聞折込み、HP掲載 役場回覧	「成果」 ・開業に伴う記帳・税務の知識・事務処理方法や労働保険制度等を説明し、相談者の理解を深めた。 ・創業者の掘り起こしとして町内全域に広報が行き渡るよう折込みチラシのほか当会HPにて周知募集を図ったが、申し込みが低調であったため3回目には森町役場の町内回覧を取り入れたところ2名の申し込みにつながった。 ・創業予定者2名のうち1名は、平成30年中に創業を目指しているとのことであった。	●30年度計画 開催回数 2回(9月、11月) ・会場:森町商工会 ・主催:森町商工会
		○創業後の支援 ・専門家による個別フォローアップ、 税務・労務・金融相談等	5人	0人	E	セミナー受講後のアプローチが必要になる。	●未実施。	「課題」 ・専門家派遣につながるよう対象者の掘り起こしに努めていく必要がある。	○30年度計画 3人
	①経営革新支援	○経営革新チャレンジ企業の発掘 ・経営指導員による巡回指導等	60件	48件	B	経営革新計画の6社の承認は大いに評価できる。	●巡回指導の実施 ・経営指導員による巡回訪問等を通し、経営革新計画の承認によるメリット等を説明し、候補事業者の掘り起しを行った。	「成果」 ・巡回指導等による候補者掘り起こしの結果、6社の承認につなげた。	○30年度計画 1件
	○経営革新計画承認申請の支援、承認後のフォローアップ	10件	12件	A	目標に近づける努力が期待される。	●承認を得ている12件に対し、実施状況報告書の作成等を通し、フォローアップに務めた。	「成果」 ・経営革新計画に従い現在の進捗状況の把握と共に係る経営課題に対し、県連専門家派遣事業や販路開拓事業あるいは持続化補助金など施策を活用しながら対応を講じている。	●30年度目標 10件	

項目	実施事業	事業内容	本年度目標	実績	目標達成度	外部評価	実績の内訳	自己評価	備考
V 小規模事業者販路開拓支援	①展示会や販売会などの情報提供	○販路開拓支援のための県内外での展示会や販売会などの情報提供、出展支援	<販路開拓支援件数> 4件	18件	A	目標を大きく上回ることができ、高く評価できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県連販路開拓支援事業 3件</li> <li>●県連チャレンジショップ出品 6件</li> <li>●販売促進応援事業 9件</li> </ul>	「成果」 ・県連販路開拓支援事業を活用し販路開拓への支援を講じると共に静岡伊勢丹に開設したチャレンジショップ(運営は県連)に6件が出品した。また、県内外で開催される催事等へ出展した事業者の係る経費の一部を助成している。	●30年度計画 販路開拓4件
							<ul style="list-style-type: none"> <li>●「事業承継・経営改善」集団セミナー 日時:平成30年1月19日 講師:静岡県事業引継ぎ支援センター 鈴木美佐男氏 よろず支援拠点 鈴木宣二氏 会場:森町商工会 出席者:12名</li> </ul>	「成果」 受講者は「今後事業承継を行う」「現在検討している」事業者11名で、静岡県事業引継ぎ支援センターの実績や本セミナー出席者と同規模の継承事例を説明することで、より身近なものと考えることができ、事後のアンケートでも好評であった。セミナー後には、直接静岡県事業引継ぎ支援センターに連絡を取った事業者もいた。 「課題」 事業承継に対する一層の啓蒙に努め、気付きの機会を提供していく。	●30年度計画 経営改善セミナー 11月開催予定
							<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新規客を集め売上を上げるA4 1枚チラシの作り方」集団セミナー 日時:平成29年7月19日、24日 講師:「A4」1枚アンケート広告作成アドバイザー 神南臣之輔氏 会場:森町商工会 出席者:20名</li> <li>○「新規客を集め売上を上げるA4 1枚チラシの作り方」個別相談会 日時:平成29年8月22日、30日 講師:「A4」1枚アンケート広告作成アドバイザー 神南臣之輔氏 会場:森町商工会 出席者:7名</li> </ul>	「成果」 ・新規顧客開拓を進める上で販促物の作成としてA4チラシの作成についてその手法を学ぶ機会を提供した。受講者も小売業に加えサービス業、建設業の出席者もあり、本テーマ等に対する関心の高さが伺えた。業種問わず小規模事業者の課題解決を図る上での一助につながった。 ・受講者を対象とした個別相談会を設けたことで、個々事業者が有する課題解決につなげることができ、各自のチラシラフ案を完成させることができた。 「課題」 ・実践後の成果等検証について継続したフォローをしていく必要がある。	○30年度計画 新規客開拓セミナー 7月、8月の2回 シリーズで開催
	○当商工会が有する商標権「森の石松」の活用やホームページなどを活用し、広告宣伝や販売促進を支援	—	—	「森の石松」の商標権の魅力を増す方策が望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森町商工会管理ホームページ「ええら森町ポータルサイト」の充実</li> <li>・内容「森町百景」など、コンテンツを充実し発信力を強化</li> <li>○SNS等の発信力強化</li> <li>『スマホで簡単!写真講座』を開催し、会員等の広告宣伝や販売促進を支援した。</li> <li>・H29.11.29(水)13:30~15:30</li> <li>・講師:綜和スタジオ 川岸和花子氏</li> <li>・会場:森町商工会館 ・17名</li> </ul>	【成果】 ・森町の見どころの投稿写真を掲載する「森町百景」に写真の位置がわかる地図を掲載するとともに、見どころのコース提案などを行い内容充実に努めた。 ・スマホで簡単!写真講座では、講義に加え実習を取り入れた内容で撮影技術の基礎を学ぶことができた。 【課題】 商標権「森の石松」については、働き掛けを行ったものの成果が出なかった。	—		
	○既存商品の見直し、新商品開発に係る専門家派遣	—	3件	—	その後の販路開拓支援が望まれる。	・新商品開発 3件 (精肉加工業者、製茶業、飲食店)	「成果」 ・新商品開発に係る相談に対し、県連専門家派遣事業を活用し開発への取り組みを支援した。	○30年度計画 3件	
○ジェトロと連携した移動相談会の開催	—	1件	—	—	○「ジェトロ浜松貿易相談会」の開催 ・開催日:平成29年8月23日 ・会場:森町商工会館 ・主催:ジェトロ浜松 ・相談者:1名	【課題】 ・輸出に意欲のある事業者の個々のニーズに合わせてタイムリーな情報を提供していく必要がある。	○30年度計画 1回		

項目	実施事業	事業内容	本年度目標	実績	目標達成度	外部評価	実績の内訳	自己評価	備考
V 小規模事業者販路開拓支援		○販売促進会の実施	<販売会出展件数> 2件	7件	A	目標を大きく上回ることができた。	<p>□『遠州の小京都森町発究極の逸品』の出展</p> <p>○日程 H30.1.28(日) 10:00~17:00</p> <p>○場所 イオン袋井店</p> <p>○目的 森町の農産物及びそれらを活用した食品の近隣地域における浸透を図る。</p> <p>○出展:7事業所</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森町発の農産品・菓子等の試食・販売</li> <li>・遠高生の発案による新商品試食・販売</li> <li>・新生次郎柿ワインの試飲・販売</li> <li>・究極の逸品</li> <li>烏骨鶏卵・卵かけごはん用醤油セット、森の究極のこしひかり、お茶</li> <li>メロンロールケーキ、次郎柿羊羹、次郎柿チップ入りパウンドケーキ等、次郎柿ワイン(新酒)</li> <li>・売上総額 約34万円</li> </ul>	<p>「成果」</p> <p>森町が有するお茶、次郎柿、メロンなどの農産物並びにその加工品は、いずれも森町を代表する逸品として知名度は高い。今回森町の逸品を一同に集めた物産展を袋井市で開催したところ大勢のお客様で賑わい所期の目的を達成することができた。</p> <p>「課題」</p> <p>開催時期により用意できる農産物に限界があるため今後開催をする際には、時期の調整をはじめ出展者の選定等検討が必要である。</p>	○30年度計画 販売会出展件数 2件
		○先進事例の視察研修の実施	<BtoB支援件数> 2件	0件	E	視察研修は計画通り実施された。	<p>○工業部視察研修</p> <p>・実施日:平成29年11月8日(水)</p> <p>・視察先:メッセナゴヤ2017 お豆腐工房いしかわ(愛知県)</p> <p>・参加者:14名</p>	<p>「成果」</p> <p>国内最大規模の展示会を視察し、自社の商品開発やマーケティング等に生かす機会につながった。また、おとうふ工房いしかわでは、改善活動に取り組む現場を直接見たことで自社の改善に役立つ機会につながった。</p>	○30年度計画 BtoB支援件数 2件
				0件	E	視察研修は計画通り実施された。	<p>○農商工連携事業推進等に係る先進事例の視察・研修</p> <p>・日程:H30.2.7(水)</p> <p>・視察先:小田原箱根商工会議所ほか 小田原市内</p> <p>・参加者:森町商工会役員、茶商組合、菓子組合各関係者、飲食事業者他18名</p> <p>・内容:視察先の事業者から先進事例の説明を受けるとともに、成果品を検証した。</p>	<p>「成果」</p> <p>小田原とは文化面にて森町が先行して交流を推進しているが本研修が産業面の交流の契機につながった。また、小田原どんやおだわらスイーツプレミアムなど小田原が誇る農水産品や工芸品を活用した取り組みを学んだことで今後の農商工連携事業に資する情報収集ができた。</p>	
		○小商圏を経営主眼とする小規模事業者への森町産業祭への出展奨励	30件	28件	B	ほぼ目標が達成された。	<p>●「もりもり2万人まつり&amp;農協祭」</p> <p>・実施日:29年11月19日(日)</p> <p>・会場:森町文化会館およびお祭り広場</p> <p>・主催:森町産業祭実行委員会</p> <p>・出店数 28件</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の特産品の紹介はもとより、工業関係者の製品等の紹介も行い、町内外へ商店・企業のPRができた。</li> <li>・新規として7会員が新規に出店した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲がある会員の出店を促すことができたが、今後も継続し出店件数の維持等をいかに図っていくかが課題。(平成27年:出店22件、平成28年:21件)</li> </ul>	○30年度計画 産業祭出展件数 30件

項目	実施事業	事業内容	本年度目標	実績	目標達成度	外部評価	実績の内訳	自己評価	備考
V 小規模事業者販路開拓支援	②ものづくり企業に対する近隣商工団体が主催する展示会等への出展奨励	○ものづくり企業において、近隣商工団体が主催する展示会との連携し、認知度の向上並びに技術力のアピール、併せて販路(受注)開拓の機会を創出	<当商工会内検討会> 2回	0回 (1回)	E	計画への取組が求められる。	未実施	【課題】 ・町内事業者のニーズを把握する必要がある。	○30年度計画 検討会2回
			<展示会打合せ会> 1回 (調査検討)	0回	E	計画への取組が求められる。	未実施	【課題】 ・町内事業者のニーズを把握する必要がある。	○30年度計画 打合せ会2回
			<バイヤー等来場者数> 2,100人 (調査検討)	0回	E	計画への取組が求められる。	未実施	【課題】 ・町内事業者のニーズを把握する必要がある。	○30年度計画 バイヤー等来場者数 2,200人
			<他団体主催出展回数> 1回	4回	A	目標を大きく上回ることができたので、その後のフォローが期待される。	<p>○ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu ・開催日：平成29年7月19日～20日 ・主催：浜松信用金庫 ・出展者：225社（森町から1社出展）</p> <p>【成果】 ・1社が出展し、具体的な商談には至らなかったものの、所期の目的である企業PRについては、名刺交換を30社程度を行うなど一定の成果があった。 【課題】 ・町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。</p> <p>○いわた産業振興フェア ・開催日：平成29年9月29日～30日 ・主催：いわた産業振興フェア実行委員会 ・出展者：180社（森町から3社出展）</p> <p>【成果】 ・3社ともに具体的な商談には至らなかったものの、所期の目的である企業PRについては、名刺交換を30社程度を行うなど一定の成果があった。 【課題】 ・森町から3事業所が出展しているが、町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。</p> <p>○メッセナゴヤ2017 ・開催日：平成29年11月8日～11日 ・主催：メッセナゴヤ実行委員会 ・出展者：1432社（森町から1社出展）</p> <p>【成果】 ・1社が出展し、見積依頼6社あり、2社と成約につながった。また、所期の目的である企業PRについては、名刺交換を120社程度を行うなど一定の成果があった。 【課題】 ・町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。</p> <p>○湖西テクノフェア ・開催日：平成29年11月22日～23日 ・主催：湖西市、湖西商工会 ・出展者：79社（森町から1社出展）</p> <p>【成果】 ・1社が出展し、具体的な商談には至らなかったものの、所期の目的である企業PRについては、名刺交換を20社程度を行うなど一定の成果があった。 【課題】 ・町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。</p>	○30年度計画 他団体主催出展回数 1回	
			<他団体主催出展支援件数> 2件	5件	A	目標を大きく上回ることができた。	<p>○ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu ○いわた産業振興フェア ○湖西テクノフェア</p> <p>【課題】 ・町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。</p>	○30年度計画 他団体主催出展 支援件数 4件	

項目	実施事業	事業内容	本年度目標	実績	目標達成度	外部評価	実績の内訳	自己評価	備考
2. 地域の活性化に資する取り組み									
I 地域活性化事業	①「森町の商工業を元気にするプロジェクト」の推進 ○観光交流客数を10年後に倍増させるプロジェクトの推進することにより、商工業活動が元気になる森町づくりを図る。 ・課題点の調査・検証・解決策の検討、元気プランの策定・実施	○元気プランの策定・提言	プラン策定プロジェクト実施回数 3回	プラン策定プロジェクト実施回数：2回	B	行政機関との緊密な連携が必要である。	○遠州の小京都まちづくり推進会議 ・開催日：平成29年4月26日(水) ・議題：遠州の小京都まちづくり基本計画  ○地域づくり構想等に関する意見交換会 ・開催日：平成29年10月26日(木) ・議題：検討課題の整理	【成果】 これまでの調査・検証及び平成29年3月策定の遠州の小京都まちづくり基本計画を踏まえ、「森町の商工業を元気にする計画」を平成30年1月4日に策定した。 【課題】 プランを具現化していく上でのPDCAが必要である。	○30年度計画 実施内容の検討等 3回
	② 婚活事業の推進	○婚活事業	3商工会合同：1回 男女計 60名  単独：1回 男女計 50名	実績 2回 共催計33名  単独計77名	A	積極的な取り組みが行われ高く評価できる。	①「Sweet婚活」の開催 ・開催日：平成30年2月4日(日) ・主催：磐田市商工会、森町商工会 浅羽町商工会各青年部 ・参加者：男性17名、女性16名、計33名 ・参加資格 男性・女性：30～45歳(未婚者)  ②森町商工会青年部単独「ええら!!森婚」 ・開催日：平成30年2月10日(土) ・会場：体験の里アクティ森 ・主催：森町商工会、後援：森町 ・参加者：男性43名、女性34名、計77名 ・参加資格 男性：20歳以上(磐田市・森町・袋井市在住及び森町在勤の未婚者) 女性：20歳以上(未婚者)	【成果】 ・森町商工会青年部の事業として、4回目の開催となるが、定着感が伺える。 ・実施後のアンケート調査でも男女とも好評で、継続開催を望む声も多数あった。 ・参加者77名に対して12組のカップルが成立した。  【課題】 ・出会いの場としては定着感があるが、成立したカップルの追跡(婚姻)は難しい。	●30年度計画 ①森町商工会単独 ・開催月：2月予定  ②3商工会合同 ・開催月：2月予定